

新2学年数学科②

7章「資料の活用」

※ 1年生の教科書内容

〇月〇日 (〇)

まず、
日付を書きましょう。

P15問 1

(1) ~~~~~

教科書の問題は、
ノートに書きましょう。

まとめ

最後に、
まとめを書きましょう。

階級 . . .

◎ ワークの問題はワークに書きましょう。

復習

身長(cm)	度数(人)
140以上~150未満	
150 ~160	
160 ~170	
170 ~180	
180 ~190	
計	12

下の資料は、ある集団の身長(cm)の一覧である。

172 186 167 165 168 176

153 162 170 161 149 158

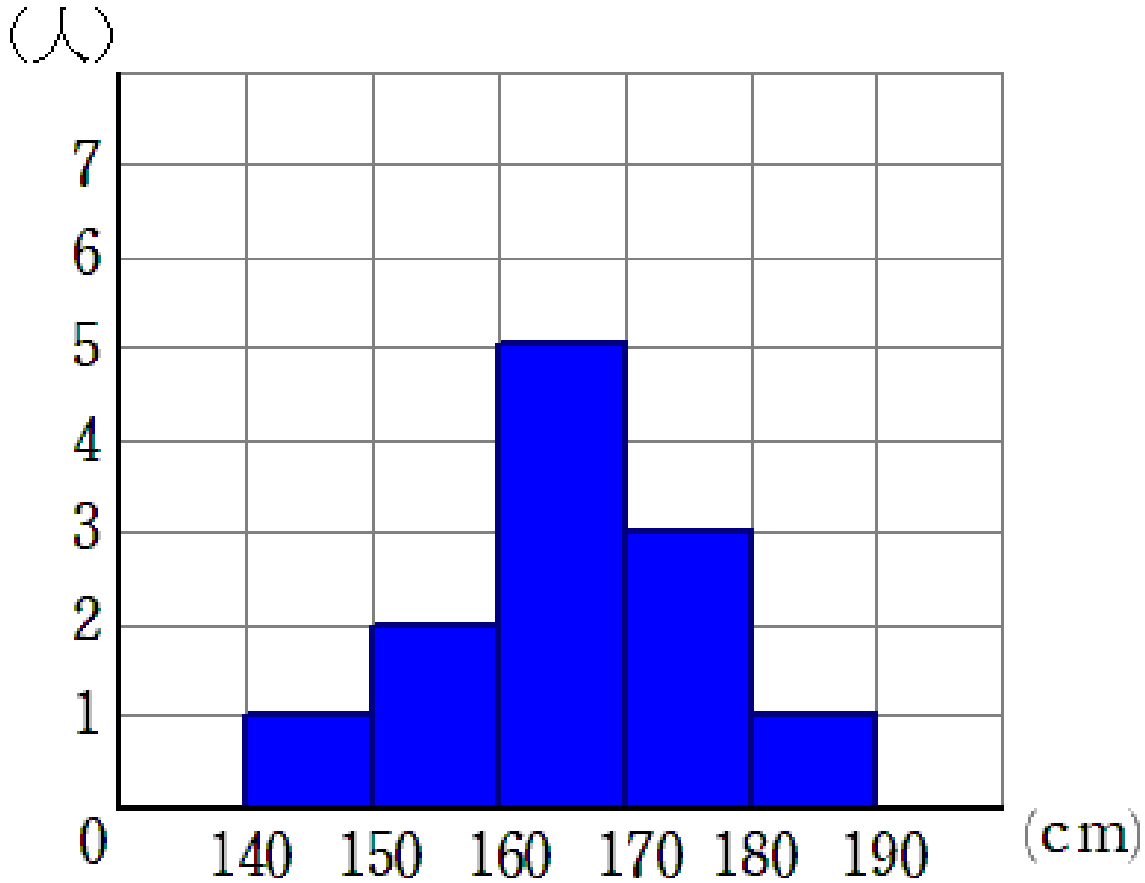
この資料の度数分布表を完成させなさい。

○度数分布表をグラフに表そう。

身長(cm)	度数(人)
140以上～150未満	1
150～160	2
160～170	5
170～180	3
180～190	1
計	12

左の度数分布表を
横軸を身長
縦軸を人数
としてグラフに表す。


グラフ① ヒストグラム




左のように階級の幅を横、
度数を縦とする長方形を
並べたこのようなグラフを

ヒストグラム

という。

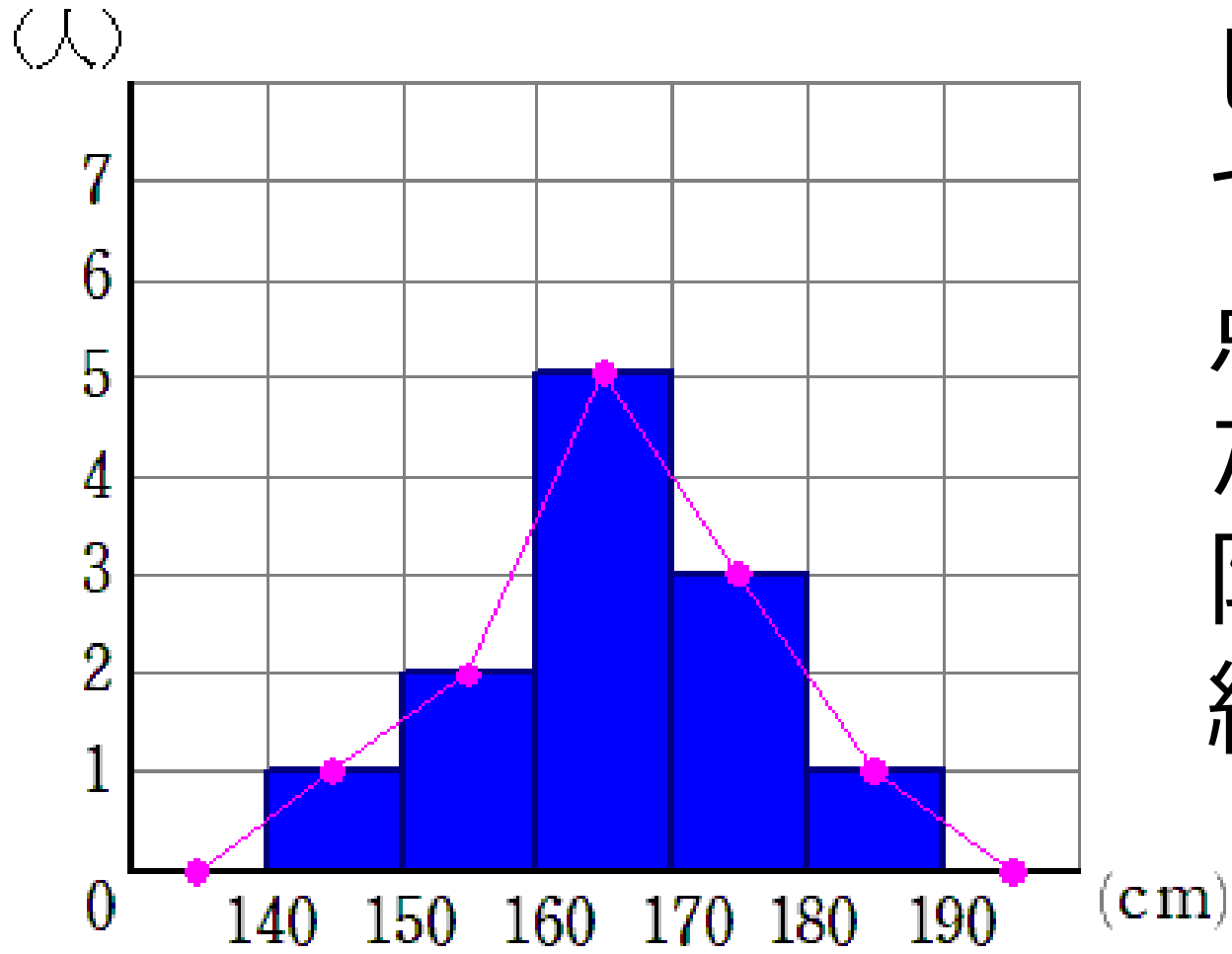


ヒストグラムは
一目見ただけで全体の
様子を理解しやすくし
たグラフである。




1年生に使用したワーク
のp97のA、Bで
ヒストグラムをかいてみ
よう。

グラフ② 度数分布多角形

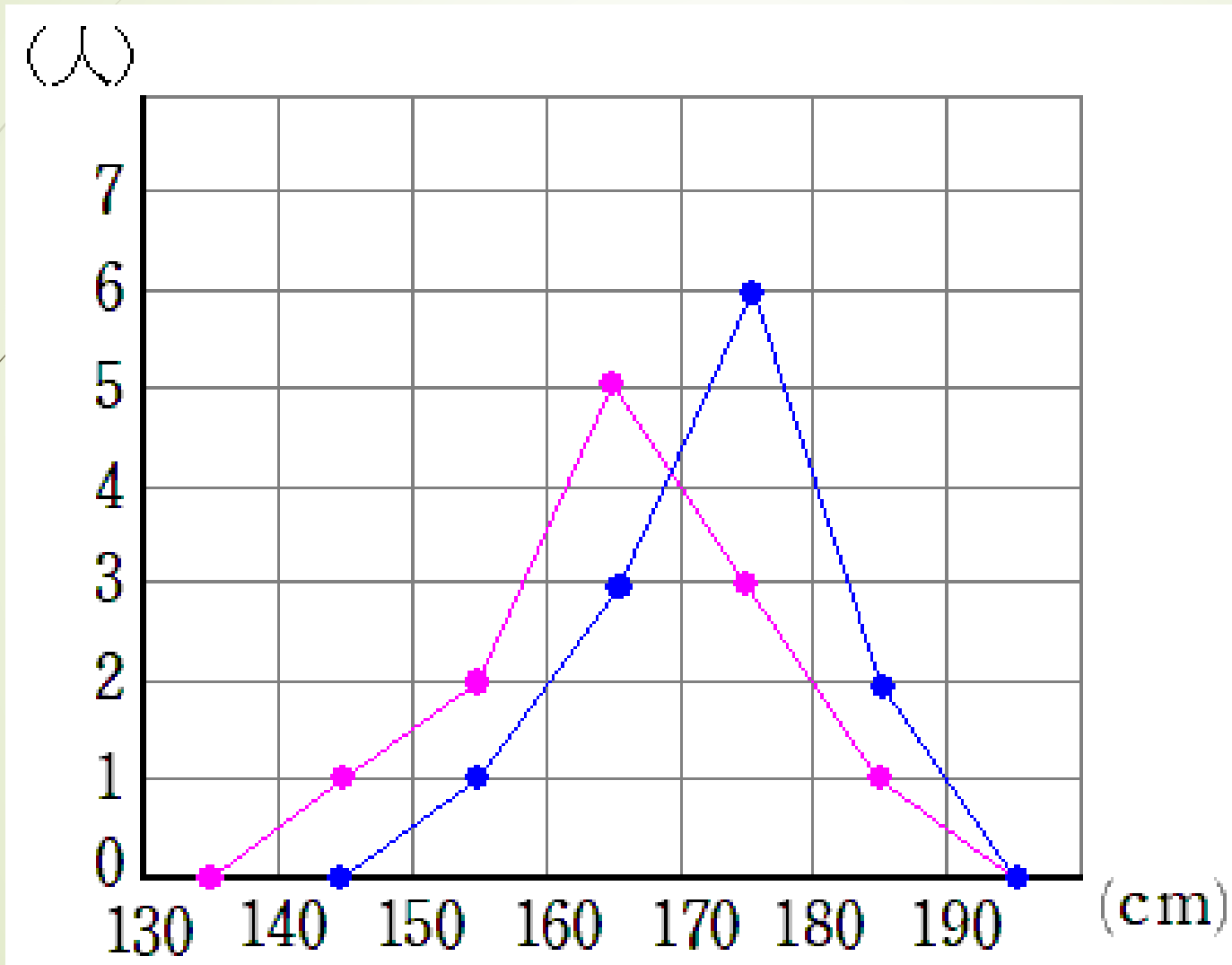


ヒストグラムで、1つ1つの長方形の上の辺の中点を順に線分で結ぶ。ただし、両端では度数0の階級があるものと考えて線分を横軸まで伸ばす。




度数分布多角形は
2つ以上の資料の比較が
しやすいグラフである。

例えば...AクラスとBクラスで
身長を比較してみると



Aクラス...赤
Bクラス...青



2つの度数分布多角形を重ねて表すと、Bクラスの身長の方が大きいということが分かりやすくなります。



まとめ

度数分布表からグラフを作る方法として、ヒストグラムと度数分布多角形がある。資料に合わせてグラフを使い分けよう。